



エコ村のみなさんこんにちは

昨年（2020年）の一月より国内でコロナウイルス感染者が出てから、まるで巨大な渦巻のようにコロナ禍は何度も日本中を襲い、私たちの日常生活に混乱をもたらしました。それでも秋が始まるあたりからコロナの第5波も収束に向かい、私たちの生活もコロナとの共存の中で随分と持ち直しました。

「留萌川大氾濫」から三十三年「るもいダム」さんが完成したのは二〇一〇年ですから一才になります。まだまだ幼いダムですが、この間数度の大雨、濁水から留萌市民を守ってくれました。

「自然から生活を守り、そして美しい自然を守る」には、何よりも自然に親しむことが大切だと思います。私たちの活動は地味ながら、まだまだ続くこととなります。「クリスマスリース教室」「ダムを灯す雪灯り」を計画しています。来年の夏は何をしましょうか？



留萌ダム管理支所からのNEWS

『コロナ禍が続くなか、今年度の留萌ダムの管理状況などを振り返りました』

洪水対応として、4月融雪、6月前線通過による増水で、ダムでは洪水警戒体制を2回執りました。幸い浸水被害などはありませんでした。現在は、7月から雨が少なく、貯水池（ダム湖）の水が少ない状況です。関係機関と打合せを行い、ダムからの放流量を調整しながら、留萌川へ水の補給を行っています。

イベントとしては、新型コロナ感染拡大防止の観点から、ダム見学会や植樹会が中止・延期となっています。また、ダムカードの配布、管理棟内の公開を一時休止しています。（ダム周辺は人も少なく静かです。動物たちは元気にいつもどおりの生活をしていると思います。鳥や秋の虫の鳴き声が聞こえます。いいな～。）

今後も、エコ村活動、見学会など、皆さんと協働いただきながら、地域に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。



大きな金メダルいただきました

「るもいエコ村」の活動が認められ、日本ダム協会から表彰されました。

それと共に国土交通省水管理・国土保全局長より「お祝いの言葉」をいただき、2020年12月4日、村山雅昭留萌開発建設部長から表彰状など伝達されました。ダムを灯す雪灯りなど地道に地域交流を続けてきたことが認められたものです。

るもいエコ村は、平成18年から留萌ダム水源地域ビジョンの検討協議を重ね、2008年にエコ村を開村しました。これまで、湖面でのEポート体験やクリスマスリース教室、ダムを灯す雪灯りなど地道に地域交流を続けてきたことが認められたものです。

エコ村会員皆さんと喜び合いたいと思います。ありがとうございました。

こんなに大きいのです(実物大)



留萌ダムにあります、見に来てください、とても重いのでびっくりしますよ!!